

# 令和8年度 多治見市上下水道関係予算の概要



多治見市 上下水道事業 経営審議会  
令和8年4月17日(金)

## 収益的収支

項目	金額
収益的收入	28億8,101万7千円
収益的支出	25億9,285万6千円
差引損益	2億8,816万1千円

## 資本的収支

項目	金額
資本的收入	4億5,836万4千円
資本的支出	14億5,666万5千円
不足額	△9億9,830万1千円

## 業務の予定量

項目	金額
(1)給水件数	43,178件
(2)年間総給水量	11,044,356m <sup>3</sup>
(3)主要な建設改良事業	老朽管布設替事業 9億1,275万円 水道総合地震対策事業 1億2,000万円

## 補填財源

項目	金額
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	1億1,681万4千円
減債積立金	4,137万3千円
損益勘定留保資金	8億4,011万4千円

### 【老朽管布設替事業】

9億1,275万円

事故や災害に備え、水道水を安定的に供給できるように老朽管更新工事を行います。

市之倉町12, 13(市之倉ハイランド)	口径50~100mm	延長1,050m
明和町4, 5丁目	口径75~100mm	延長1,150m
その他市内一円	口径50~300mm	延長9,225m (延長計11,425m)

[企業債] 限度額:3億1,340万円  
利率:年6%以内



### 【水道総合地震対策事業】

1億2,000万円

旭ヶ丘配水区において、旭ヶ丘第1配水池から重要給水施設である基幹病院までの非耐震管である配水管を、耐震性能を有する配水管に整備します。

旭ヶ丘 口径250~300mm 延長550m



システム構築費総額  
9,912万4千円

# 【上下水道事業窓口業務等包括業務委託】

6億3,792万円

システム構築

【継続費】 総 額：5,063万2千円  
 令和8年度：2,424万6千円  
 令和9年度：2,638万6千円

水道



【継続費】 総 額：4,849万2千円  
 令和8年度：2,424万6千円  
 令和9年度：2,424万6千円

下水道

システム構築費は、下水道事業会計と折半

【債務負担行為】 期 間：令和9～14年度  
 限度額：5億3,880万4千円

委託料・システム保守

地方税統一QRコード(eL-QR)



令和9年10月から上下水道事業の窓口業務等と新上下水道料金システムの構築を包括委託するため、令和8年度に委託業者を選定します。  
 新上下水道料金・検針システムは、国が推奨する水道料金プラットフォームを活用し、eL-QRへの対応も行います。

包括的に委託化することで、責任の所在を明確にし、業務の一貫性を確保

**課題**

**システム面**  
 1) 料金システムと検針システムの2系統にまたがり非効率  
 2) 導入後10年以上経過し、操作性の低下やDX推進に支障

**役務面(窓口・検針業務等)**  
 1) 専門的知識を持つ人材の不足  
 2) 検針人をはじめとする人材確保が困難を極めている

期待される効果

- ①新システムでのDX推進による業務効率化
- ②クラウドシステム導入による緊急時対応の強化
- ③バンダーロックインの解消
- ④人員不足の解消
- ⑤継続的雇用による専門知識の蓄積
- ⑥民間事業者のノウハウを活用した質の高いサービスの提供
- ⑦滞納整理の強化による収納率向上

DXの推進

【上下水道総務課】

①SMS催告による収納強化

水道料金・下水道(農業集落排水処理施設)使用料を納入期限を過ぎてもお支払いの確認ができない方を対象に、携帯電話やスマートフォンへSMSを送信します。

<通信費、システム保守費>

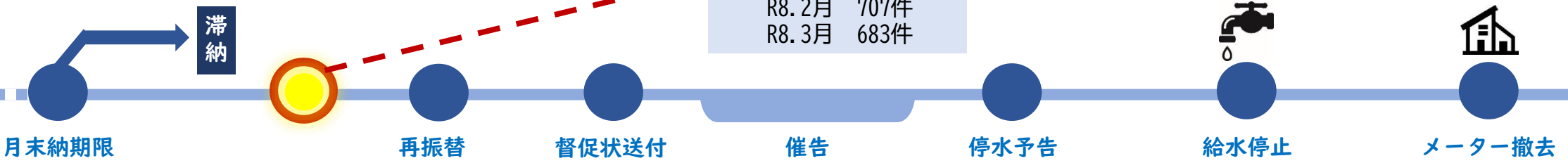
44万6千円

配信数700件~800件/月

【実績(到達件数)】
R8.2月 707件
R8.3月 683件



☆送信例>  
【多治見市上下水道総務課からのお知らせ】  
令和〇年〇月分の水道料金(納期限〇月〇日)のお支払いが確認できておりません。納入通知書をご確認の上、至急お支払いください。  
なお、お支払済の場合は行き違いをご了承ください。



②スマートメーター実証実験による有用性の検証

スマートメーターを段階的に試験導入し、有用性や使い勝手等について検証します。

<通信費、固定資産購入費>

113万2千円

スマートメーター50台分

【実績(設置個所)】
R7 15か所程度



スマートメーター (R7.12購入)

☆スマートメーターの通信方式は、主にウォークバイ方式、電力メーター活用方式、携帯電波活用方式の3つに分類されます。  
☆各方式の使い勝手や電波の到達状況等について検証します。

## 【上下水道工務課】

### ①旭ヶ丘第1配水池更新詳細設計 5,329万3千円

高根配水池は建設から56年、旭ヶ丘第1配水池は建設から50年が経過しており、どちらも耐震性を有していない配水池となっています。両配水池を旭ヶ丘第1配水池に統廃合し、更新するための詳細設計業務を実施します。  
令和12年度の完成を目指します。

### ②水道ビジョンの見直し 1,227万6千円

「水道ビジョン」は、水道事業者が50～100年後を見据えた水道の未来像を位置づける、長期的な事業戦略です。  
「安全」・「強靱」・「持続」の3つの視点で計画を策定しています。  
見直し後の計画期間は、令和9年度～令和18年度までの10カ年となります。



旭ヶ丘第1配水池



## [岐阜県営水道＝新補助制度の創設]

4,700万円(予定)

## 水道管路更新促進事業(2億円/年)

老朽化する受水市町の水道管の更新または改修に係る工事を支援

- 要件① 補助率:1/2 (上限は受水市町で異なる)
- 要件② 補助対象:市町管理の水道管更新、改修費用を補助



## [判明している内容]

- ①岐阜県の予算総額は**2億円**(対象事業は新たに市が予算化する国庫補助事業)
- ②期間は令和8～10年度までの**3か年**、未実施分は翌年度以降に実施可能
- ③補助率は**1/2**(県の説明では、対象事業費は補助金の**裏負担分**との見解)

&lt;例&gt;

A:水道総合地震対策事業(重要給水施設に接続する配水管の耐震化)

B:水道施設アセットマネジメント推進事業(緊急輸送路下に埋設の管路更新)

※補助金交付要綱を策定中

### 収益的収支

項目	金額
収益的収入	32億8,892万6千円
収益的支出	33億8,183万円
差引損益	△9,290万4千円

### 資本的収支

項目	金額
資本的収入	21億 660万8千円
資本的支出	32億4,184万9千円
不足額	△11億3,524万1千円

### 業務の予定量

項目	金額
(1)排水件数	38,688件
(2)年間有収水量	10,027,560m <sup>3</sup>
(3)主要な建設 改良事業	管渠長寿命化事業 8億7,600万円
	地震対策事業 5億224万8千円
	処理場長寿命化事業 4億8,763万3千円

### 補填財源

項目	金額
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	1億4,404万1千円
損益勘定留保資金	9億9,120万円

### 【経営審議会】 13万6千円

水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の適正かつ効率的な経営を図るため、経営に関する重要事項を上下水道事業経営審議会に諮問します。

令和8年度は、下水道使用料の改定を含めた審議を予定しています



令和7年度第2回審議会の様子

### 【管渠長寿命化事業】 8億7,600万円

埼玉県八潮市の下水道管の破損事故を受けて実施した下水道管路の全国特別重点調査の結果から、**緊急性の高い区間の管路長寿命化事業**を行います。  
また、高田町、東町、笠原町地内に設置されているマンホールポンプの更新工事を行います。

[補助・起債事業] 補助率50%

<緊急性の高い区間>  
市民病院交差点付近から池田下水処理場までの間  
口径2400mm 延長758m



つづき

# 【管渠長寿命化事業】

(うち マンホールポンプ更新工事 2,200万円)

ストックマネジメント計画に基づき、市内82箇所(高田町、東町、笠原町地内など)に設置されているマンホールポンプの更新を行い、施設の長寿命化を図ります。

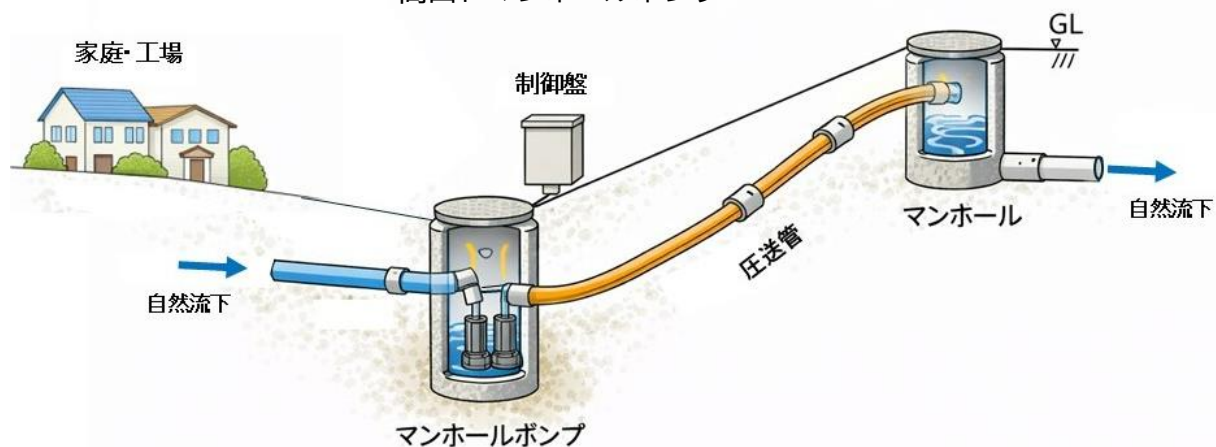


## マンホールポンプとは？

自然流下できない地域の生活排水を一度貯め、強制的に下水処理場へ圧送する施設です



高田1 マンホールポンプ



マンホールポンプ (仕組み) のイメージ

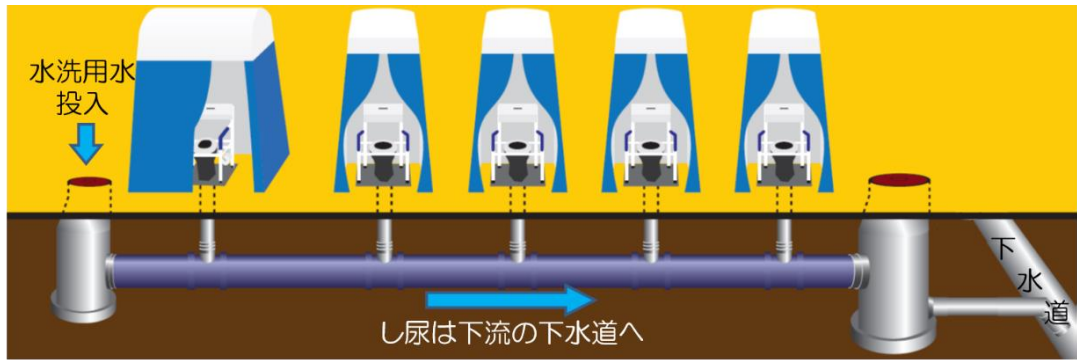
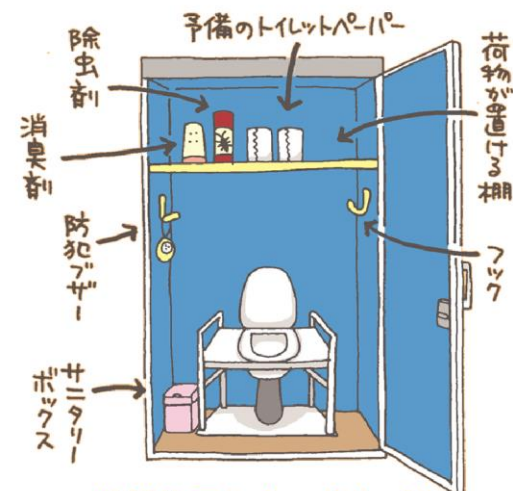
# 【地震対策事業】

## 5億224万8千円

[補助・起債事業] 補助率50%

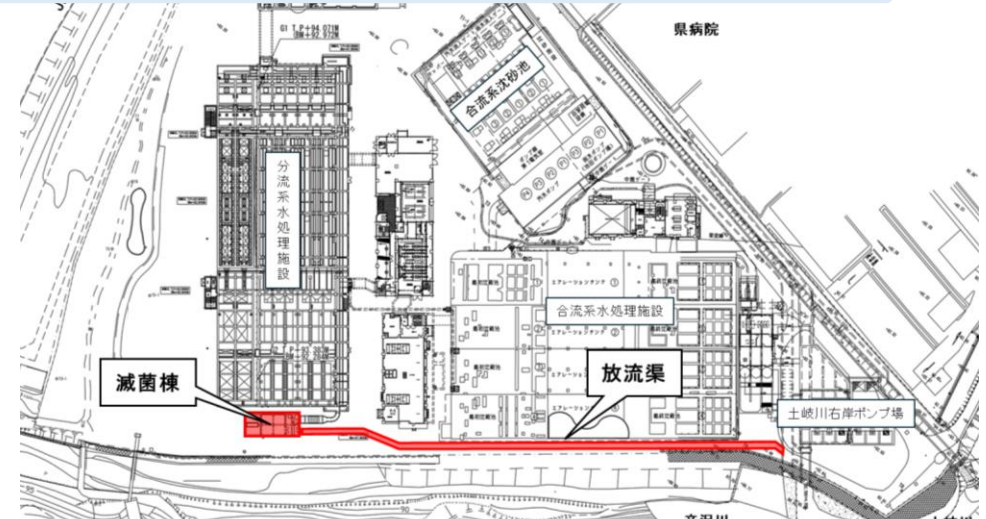
指定避難所のうち、笠原交流センターにマンホールトイレを設置します。  
また、平和町他で管渠耐震化設計及び工事、池田下水処理場の分流系統における「滅菌棟」及び「放流渠」の耐震診断を実施します。

<マンホールトイレ>  
汚水を一時的に貯められる貯留管を地下に埋設します。  
災害時は地上に仮設トイレを設置し使用します。



出典:国土交通省HP

### <池田下水処理場> (うち 処理場耐震診断 1,724万円)



[補助・起債事業] 補助率55%

# 【処理場長寿命化事業】

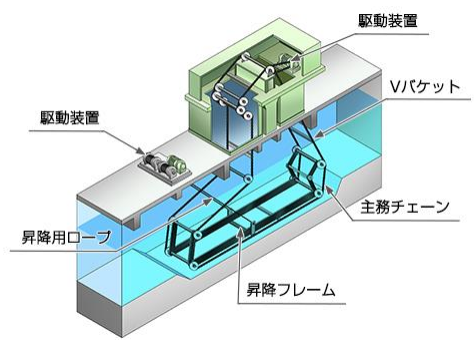
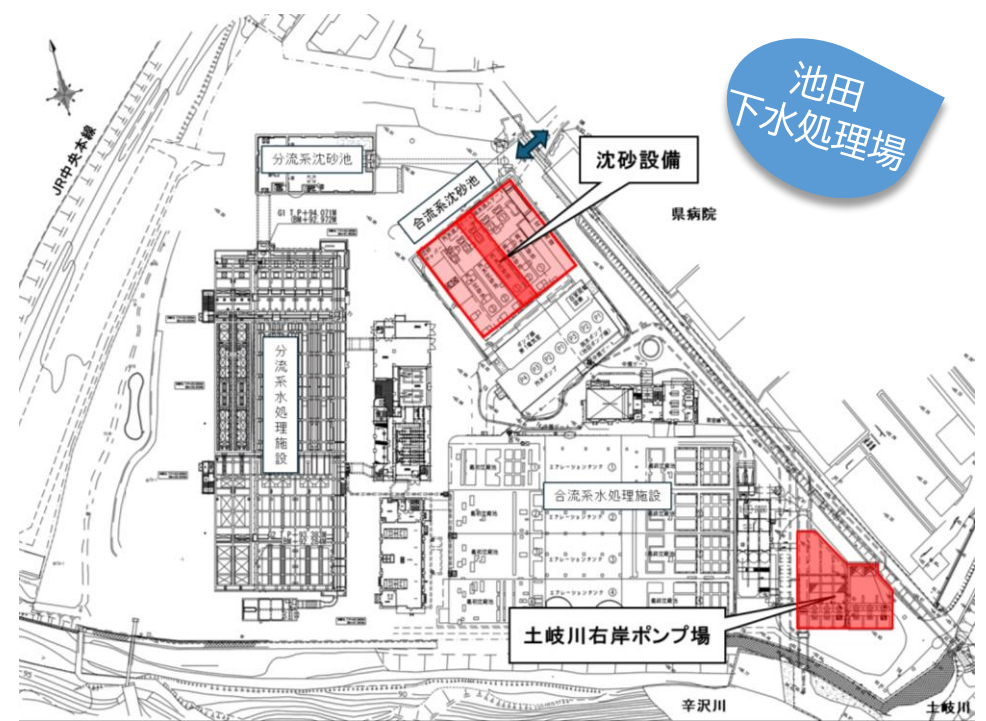
## 4億8,763万3千円

[継続費]	総額：4億3,000万円
	令和8年度：1億8,000万円
	令和9年度：2億5,000万円

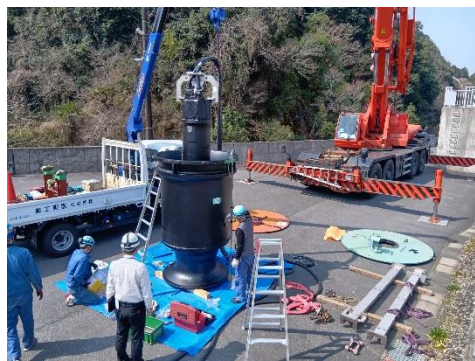
### (主な事業)

- ・ 沈砂池設備更新工事 1億8,000万円
- ・ 機械設備調査 1,300万円
- ・ 電気設備更新詳細設計 1,807万円

ストックマネジメント計画に基づき、池田下水処理場の「沈砂池設備更新工事」、土岐川右岸ポンプ場の「機械設備調査」、市之倉下水処理場の「電気設備更新詳細設計」を実施します。



池田下水処理場 合流系沈砂池設備



土岐川右岸ポンプ場

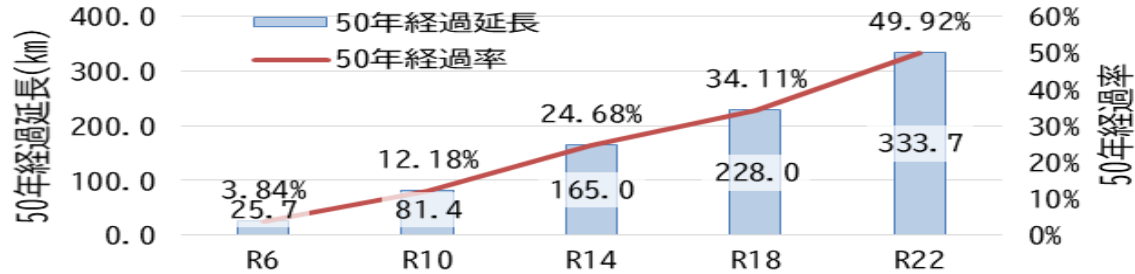


市之倉下水処理場 電気設備



## (1) 施設老朽化の加速 > 事業費の増大

下水道管の50年経過延長の推移

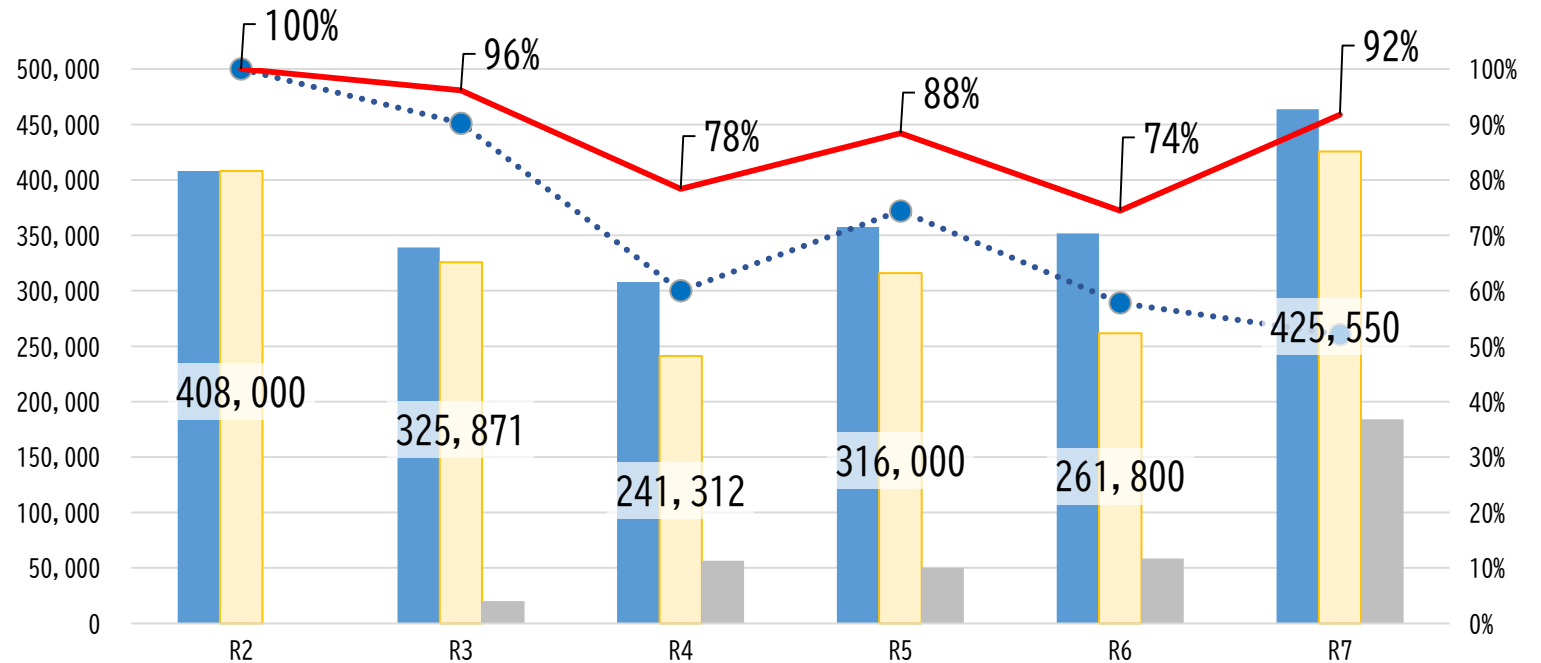


水道事業同様、高度経済成長期に埋設の下水道管は、今後、耐用年数を加速度的に超えてくる状況。  
仮に、一切管路更新をしない場合は、令和22年度に49.92%の下水道管が耐用年数を超えると予測。

## (2) 事業費の増大 > 財源となる 交付金の見通し

物価高騰の中、下水処理場の設備更新、下水道管渠の長寿命化・耐震事業を進めるためには、約20億円/年の事業費が継続的に必要となる見込みです。  
一方、大きな財源である国からの交付金(社会資本整備総合交付金)の交付率は、近年満額交付でない年も多い状況です。  
経営戦略通りの事業実施ができるか、不透明な状況があります。

社総交交付額 (率) の推移



■ 要望額   ■ 交付額   ■ うち補正交付額   ●●● 当初交付率   — 補正後交付率

## 2 下水道事業における国の動き

# 老朽下水道管 3年ごと点検

陥没防止に向けた法改正案の決定！

老朽下水道管の管理強化に向けた下水道法などの改正案を国会へ提出  
配管の点検頻度を増やし、腐食が特に進む恐れがある場所は「3年に1回以上」とする方針

### 老朽下水道管の 管理強化のポイント

- 腐食の恐れがある配管の点検頻度を増やす
- 損傷や劣化の状況を判定する「健全度」の区分を設定
- 災害や事故で使えなくなる事態に備え、別ルートで下水を流せるようにする「複線化」を進める
- 国と自治体が配管の維持管理や修繕の面で協力する

### 下水道管の維持管理に関する新基準のイメージ

度 判 定 の 新 基 準	下 水 道 管 健 全	4	緊急措置段階	緊急に改修
		3	早期措置段階	改修に向けて設計に着手
		2	要監視段階	応急修繕をした上で改築時期を検討
		1	健全(異常なし)	

		現行基準	新基準
重 要 管 の 点 検 頻 度 の 例	「健全度3」と判定された場所	5年に1回以上	1年に1回以上、空洞調査も実施
	硫化水素濃度が特に高い場所など		3年に1回以上
	硫化水素による腐食の恐れが高い場所など		5年に1回以上
	その他	明確な基準無し	10年に1回以上

## 収益的収支

項目	金額
収益的收入	1,535万円
収益的支出	1,555万2千円
差引損益	△20万2千円

## 資本的収支

項目	金額
資本的收入	381万5千円
資本的支出	691万9千円
不足額	△310万4千円

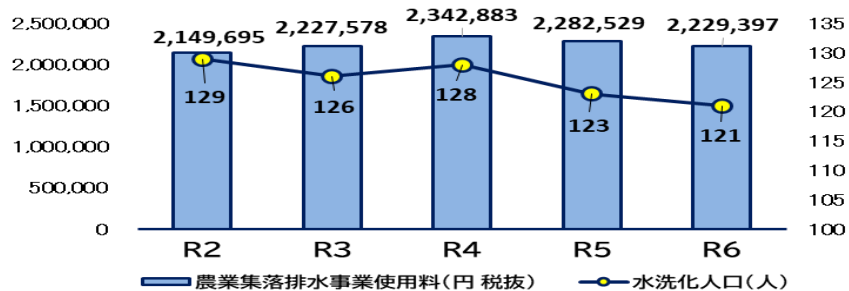
## 業務の予定量

項目	金額
(1)排水件数	59件
(2)年間有収水量	11,571m <sup>3</sup>

## 補填財源

項目	金額
損益勘定留保資金	310万4千円

農業集落排水事業使用料と水洗化人口の推移



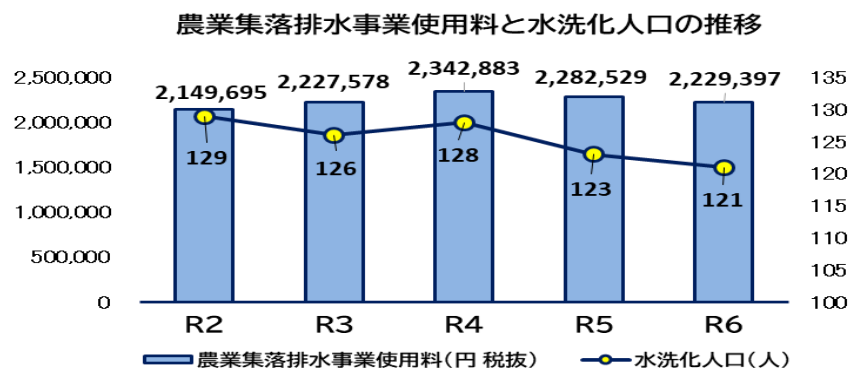
# 【汚水処理場費】 751万円

(うち 流入流量計修繕 253万円)

適切な汚水処理管理を行うため、甘原クリーンセンターの「流入流量計」の修繕を実施します。



甘原クリーンセンター



変換器



流入流量計



検出器